



Y.T (統計学A/B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

2回生の時にマクロ、ミクロ、統計のCSを受講していて、その時のSAの先輩方と仲良くさせていただいていたこと。また、自分も先輩方のように教えてみたいと思ったから。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初回授業のときにとっても緊張したことを覚えています。慣れてくるにつれてだんだんちゃんと話せるようになってきました。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験する前は、人に教壇に立って教えるという体験などしたことがありませんでした。が、実際に体験してみると想像していたよりも緊張するし、わかりやすく伝えることが難しいということがわかりました。ですが、やはり慣れてくるにつれて緊張も少なくなっていき、また授業をすることも楽しく感じるようになってきました。また、教えるために準備するにあたって、勉強するので、自分のいままでの知識よりもさらにたくさんの知識がつかえました。質問待機で、受講生の方が質問にきて、説明をしてわかるようになって帰ってもらえるのがとても嬉しいです。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

自分が実際にSAやるかやらないか決めるときに、やりたい気持ちはありましたが、ちゃんとわかってないかもしれないのに自分なんかSAになってもいいのだろうかという不安がありました。ですが、実際にSAになってみて、自分1人でなく、周りのSAの方々や担当の先生方といっしょに授業を作っていくので、心配することは全然なかったです。なので、もし迷ってる人がいれば、一緒に頑張っていきましょう。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

半年間大変お世話になりました。得田先生、藤井先生、SAの方々のおかげで楽しく授業することができてよかったです。来期もよろしくお願いします。



Y.S (統計学B)

僕が二回生のとき、当時統計学BのSAだった方からSAに誘われていたんですけど、三回生の時はどうしても時間の都合が合わず断ってしまいました。

四回生になる直前にSA募集のチラシを見て挑戦してみようかなと思ってSAになりました。

SAになってからは、受講生のためにわかりやすい解説を心掛けつつも曖昧な説明は回避したいという、一種のトレードオフのような問題に悩みました。しかし、他のSAや担当教員の方の力を借りて、

どうにかこの困難に立ち向かえたと思います。

そんな中印象に残っているのは受講生からの

「ありがとうございました」という言葉でした。多くの方たちの力も借りながらも、自分の努力が実ったようでうれしかったです。

SA業務（僕の場合は主に課題作成や課題のチェック）をこなす中で自分の文章作成スキルや受講生がどのような所でつまずきやすいかなど増えた知識や発見はたくさんあります。特に一番大きな発見は、課題チェックの時に、同じような間違い方をしている問題があると

「この解説が甘かったな」とか

「次回の課題解説ではこの部分に時間を使おう」など

受講生から教えられることがたくさんあり、授業というのは担当教員、SAと受講生が一丸となって作っていくものだという発見でした。

たぶんこの発見は重要かと思います。

以下、僕個人の意見です。

SAをやるにあたって重要なのは、能力の高さよりも、やる気だとか情熱です。

確かにSAというものは他人にものを教える仕事なので、

能力が高いに越したことはありませんが、あまり重要ではありません。

それよりも受講生にどれだけ寄り添えるか、熱くなれるかのほうが重要です。

なので、ある分野が好きでSAに興味はあるが成績が悪く戸惑っている人がいれば、是非来季の担当教員の方にMailしてみてください。

そして自分はこの分野に関してはどれだけ情熱があるかを訴えてみてください。

それがどう評価されるかはわかりませんが、きっと良いSAになれます

(僕自身が良いSAだったかはわかりませんが)。

最後に関係者の方と仲間たちへ。

SA初心者の方に優しくいろんなことを教えていただきありがとうございました。

みなさんから教えていただいたことは僕のシナプスに刻まれ、

今後も活用されるかと思えます。

今のところ来期もSAをやる予定なので、これからもよろしくお願いします。



K.I (統計学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

良い経験が出来るかと確信したから。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

小テストの準備が大変だということを理解しました。
毎度毎度、何かしらのミスがあった事、
テストの準備が大変だという事が今回印象に残った。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験して変化したこと成長したこと。
そもそも、私は多くの人前で話すことが得意ではなかった。
しかし、SAを経験し、多くの人前で話す機会が増えていくにつれ、
人前で話すという自分の不得意を克服していったように感じる。
また、経験して分かったことだが、
多くの人に正確に物事を教えるという事は難しい。
しかし、多くの人に正確に自分の準備したものが伝わった時の
感動は例えられない。物事を伝える事の難しさを知り、
物事を伝えれた時の感動を知った。
その事もあってか、日頃から人に何かを伝える時は
分かりやすく伝える工夫などをするようになった気がする。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

生徒でありながら、講師にもなれるSAのような経験が出来るチャンスは
おそらく無いだろう。大変な時もあるが、それだけやりがいがある仕事だ。
SAの利点を述べよう。
多くの人前で話す機会が増え、人前で話す事の耐性がつく。
教授から裏事情を聞けたりできる等、まだまだ多くある。
SAを経験していない限り、滋賀大学を知り尽くしたとは言えないだろう。
もし、少しでも興味があったり、
迷ったりしているのならSAになった方が良いと思う。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

半年間、とても良い経験ができました。
得田先生、関谷さん、高溝さんが
僕に親切に接していただいたことはとても感謝しています。
半年間、お疲れさまです。これからも宜しくお願いします。



I.I (マクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

一回の授業で二回分の講義内容を進めなければならなくなったこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

マクロBは二回目、SAとしては3期目になりますので
どちらかという大きく成長したというよりは、
成長を実感できた春学期でした。

例えば範囲が同じなので去年のスライドを流用することができたのですが、
去年では気づかなかったところにまで気が回り、
より分かりやすいスライドづくりができました。
去年の自分を改めて見つめなおし、
より良い授業を目指せるようになりました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

多くの人の前に立ちなにかを教えるということは
想像以上に新しい経験になります。

個人に対して何かを伝えることと大勢に対して伝えることは全く違います。
どの様にすればより分かりやすく伝わるのかを考え実行していくことは、
いろいろな場面で生きてくる大事なスキルです。

例えば授業でのプレゼンの時などにもこのSAでの経験がとても生きました。
毎週の準備は大変ではありますが、それ以上に得られるものが多いです。
是非一度チャレンジしてみてください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

SAの皆様、鈴木先生春学期間お世話になりました。

至らぬ点多々ありましたが皆さまの支えもあり

最後まで無事に仕事が終わることができました。ありがとうございました。
いろいろと文句も多いと思いますが秋学期もよろしくお願ひします。



M.S (マクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続で務めさせていただきました。

A科目よりB科目は難しくなりますが、

自分が受講生だったときに感じたことなどを生かして受講生に伝えたいと思い、今期も続けようと思いました。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

今期の質問待機ではマクロAの標準試験についての質問も多く、

前期の資料を用いて解説したときに、分かりやすいと言ってもらえたこと...!

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

「見やすい資料」「分かりやすい話し方」への意識がより定着したと思います。

「人前で話すことに慣れる」とはよく聞くかもしれませんが、

一言にそう言っても、やはり15回弱の講義を行うと、

一方的な発信だけでは伝わらないということも感じます。

目や耳から入る情報を、いかに入りやすく届くようにするか、

普段のコミュニケーションにも生かせると思っています。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

「自分には縁がない」と思うかもしれませんが、貴重な経験ができます。

まずはチャレンジしてみませんか！今しかできないです。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

鈴木先生、学習教育支援室の皆様、今期も本当にお世話になりました。

たくさんご迷惑もおかけしたと思いますが、

春学期のSA活動を無事に終わられたのも、周りの方々あってこそです...

SA仲間の皆さんも、お疲れさまでした。ありがとうございました。



K.S (マクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前回の継続です。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

授業がなくなってしまったこと。
質問待機で標準試験についての質問が多かったこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

2期目ということで、1期目の時に得た知識や方法を使うのはもちろん、自己流に「わかりやすさ」を重視したスライド作りや話し方を考えることができました。
また学内で「SAの人」として見られるのもあり、一定の緊張感を持って大学生活を送ることができたのが変化したことだと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

科目の先生と相談しながらやることはもちろんですが、自分が受講生の時に感じたことや経験をもって学生に寄り添って教えることができます。
自分の経験を活かすことができるこの活動はとても有意義です！
また、パワーポイントを作ったり教室の前で喋ったり
またメールでのやり取りをしたりなど毎週やることはたくさんですが、ゼミや就活などで大変役に立ちます。
一緒に頑張りましょう！

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

半期間ありがとうございました！！
至らない点も多々あったかと思いますが、みなさんのおかげで今期も無事終わりよかったです。
来期は災害などでいきなり授業がなくなったりしませんようにと心から思います(笑)
お疲れ様でした。



T.F (マクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

SA活動を通じて物事を説明するスキルを高めたいと思ったからです。
卒業後、どんな職業であれ「説明力」や「構成力」が不可欠になると思った時、
滋賀大学にはコアセッションという制度がある事に気が付き応募いたしました。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

質問待機の時間に台湾人留学生が来てくれた時の事。
指導教員が自分の時間に来る事をお勧めしてくれたという話を聞いた事です。
未だに何故か分かりませんが、
自分がそう言われる立場になれた事は嬉しいと思いました。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

自分なりにどのように解説すれば良いかを工夫しました。大きく工夫した点は2つ。
・スライドの文字情報や解説は少なく
・横文字や専門用語は普段使っている言葉と関連付けるように解説するという事です。
端的に解説する事で覚えやすくなるだろうと思った事、
問題文で難しい言葉が出てても普段使っている言葉と関連付ければ
臆せず取り組んでもらえると思ったからです。
その試行錯誤によって多少は解説力が上がったんじゃないかと思います。
とはいえ言葉が回らなくなる事や解説が足りない点があったので、
卒業までのSA活動では慣れる為にも、
セッション前日までのイメージトレーニングを大切にします。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

生徒が非常勤講師として業務を行える大学は全国にも少なく、
得られる経験は非常に大きいです。
講義のスライド作成や構成を考える点は工夫が要りますし、
多数の生徒を前にして話すのは時に緊張するかもしれません。
ですが担当教員や他のSAの手厚いサポートによって
自分でも最初半期の講義を成し遂げられたので、是非臆することなく挑戦してみてください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

○嶋寺SA

何かの縁で私に一番アドバイスをしなければならない羽目になってしまい、
手間の掛かる半期だったと思います。
スライド作りにあたって受けた多くの手直しやアドバイスは来期の構成に活かします。

○飯田SA・白枝SA

別クラスの担当でしたが、
初めてのSA活動を手厚くサポートして下さりありがとうございました。
期待に沿えるよう来期からは解説の質を上げる事を心掛けます。



J.S (ミクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続ですが、
前期は先輩のSAさんと親しくさせていただいたためです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

来期からミクロ経済学のコアセッションが答練になること。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

TA/SAの活動は、大雑把に言ってしまうえば人に何かを伝えることです。
ですので、私はこのSAの活動を通じて、
どのような話し方や言い回しをすれば伝わりやすいのか、ということ、
実際にその力がついたかどうかは別ですが、考えるようになりました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

TA/SAの活動は、実際大変なことが多いです。
普段の生活のなかにコアセッション及び
その準備のサイクルが加わるわけですから、当然やることは増えます。
しかし、その大変さを補って余りあるほどの利点もあると思います。
百人単位の人を相手に話すという貴重な機会が得られる点はもちろん、
さらに私が良いと思うのは、優秀で信頼できる仲間ができる点です。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

一学期間お疲れ様でした。ミクロのSAが1人だということを、
みなさんがよく気にかけていただいたことが心の支えになっていました。
感謝しています。